

# 令和3年度 第1回伊東市政モニター一会議録（要旨）

日時 令和3年6月9日（水）午後2時～3時30分

場所 市役所7階 特別会議室

出席者 市政モニター10人

市長、副市長、企画部長、財政課長、秘書課長、担当

## 1 開会

## 2 委嘱状交付

## 3 市長あいさつ

今年度の市政モニターについては、公募により6名、団体推薦により4名、計10名に委嘱した。私はボトムアップによる市政運営を重点施策とし、主役は市民であると考えている。市政モニターにはその代表として、広い視野から見た大局的、かつ建設的なご意見をいただきたい。また、今年度は市民運動場の人工芝化工事や、図書館・文化ホールの建設計画、伊東駅前再整備など重要な事業がたくさんあるので、積極的にご意見をいただき、応えられるものについてはしっかりと応えていきたい。

## 4 モニター自己紹介及び当局紹介（省略）

## 5 懇談

### 伊東市の財政について（財政課長）

（令和3年度の伊東市の財政について説明）

### 日頃思っていることや伊東市の将来、地域の課題などについて

#### 【モニターC氏】

伊東市の観光は「待ちの観光」であり、お客さんが来てくれるのを待っている姿勢に思えますので、仕掛けを考えた方がいいと思います。参考にフィンランドの事例を挙げますと、中心部の都市にお城があり、年に1度そこを開放してオペラのイベントが行われます。世界中で有名となっており、人がたくさん集まって来ます。伊東も音楽が盛んだと思いますので、そういったイベントを開催してはどうでしょうか。

また、観光会館が古く、見た目も良くないので、建て替えるなどしてはどうでしょうか。「攻めの観光」をお願いします。

### 【市長】

これまでは「安・近・短」の象徴として、伊豆・箱根に自然にお客様が来ました。今は全国総観光地と言っていると思います。

市では複数年での観光事業を行っており、今年で3年目になります。その中で、まずはデジタルマーケティングとしてSNS等を通じての情報発信を始めました。伊東に来遊される外国人が特に多い、東南アジアや欧米を中心とした10か国にYouTubeで動画を配信し、これまでの自治体の成功例としては佐賀県のPR動画が1,000万再生であったのに対し、伊東市の動画は2,000万再生を突破しました。基本的には言葉や文字を入れず、ドローンで撮影した風景などをメインにした動画で、とても反響がありました。どの国でどのくらいの人が動画を見たかというデータが取れましたので、今後どこにターゲットを絞っていくかを検討していきます。しかしながら、今はインバウンドが期待できませんので、国内の若年層、家族連れ、ご婦人方のグループなど、ターゲットを絞って戦略を打ち出していきたいと思っています。

現状オペラなどをやるような施設はありませんが、文化ホールを建設するようになった場合には、音響には力を入れたいと思っています。今後は「新しい生活様式」の導入が必要となり、座席などが密になるような施設は作れないと思いますので、ゆったりとした空間で座席の増減ができるような形態にすることで、様々な状況に対応できるようにしていきたいと思っています。今まで市は民間資金を活用してきませんでした。PFIなどの建設から運営までを民間会社に委ねる手法もあり、研究しているところですので、近々方針が出せると思います。

### 【モニターC氏】

文化ホールですが、今市長がおっしゃったように、これからは閉鎖的な空間はあまり流行らないかもしれません。例えば、大室高原の広い土地や伊豆高原駅のオープンスペースなどを活用して、若者が気軽に音楽イベントができ、観客は芝生に座って楽しめるような、野外コンサートができる広場があれば良いと思います。

また、これからリモートワークをする人が増えてくると思いますので、市内に無料で無線LANが利用できるエリアを作り、海岸や山の上などの自然の中で仕事ができるということのを売りにしてはどうでしょうか。

### 【市長】

参考にさせていただきます。

### 【モニターB氏】

河津桜の原木は元々は伊東のもので、河津にたくさん植えられたことで河津桜という名称になったと聞きました。金目鯛も下田のイメージが強いですが、そ

のまま食べても加工品を作っても、伊東で獲れた金目鯛が一番美味しいと思います。イカメンチも熱海や網代のイメージが強いですが、それより前に伊東でも作っていました。伊東はすごいことをやっているのに、先行することができず他が目立ってしまい、後から取り返すこともできません。観光にもつながると思いますので、もっとアピールしていきたいです。

#### 【市長】

河津桜についてはおっしゃる通りです。当時伊東には多くの観光客が訪れていたのですが、あまり注目していなかったのかもしれませんが、今伊東に残っているのは小室桜という小室山に自生している桜で、河津桜より葉っぱが多い品種ですが、色合いは濃いピンクで、河津桜と同じ時期に咲きます。

金目鯛については、伊東の海が急に深くなる地形で、栄養が豊かであることによって脂の乗った地キンメが獲れるのではないかと思います。あまり知られていないので、皆さんがいろいろな人たちに伝えられるように後押しができればいいと思います。

イカメンチについても、以前は漁師めしという形でどこの漁場でもあったのではないかと思います。熱海や網代が注目される結果となりました。

まだまだ伊東には魅力的な食材や観光資源が眠っていると思いますので、皆さんから「こんなものもある」「こんな名前にしたらどうか」などのご提案をいただければと思います。

#### 【モニターC氏】

3年程前にJAあいら伊豆農協の講習に参加した際に、収穫祭が行われ、伊東で獲れた野菜や魚を使ったブイヤベースが好評だったように思います。他の地域で注目されたものを後追いつけるよりは、皆さんのアイデアとマーケティングで新たなものを作り上げてはどうでしょうか。

#### 【市長】

いとう漁協の「サバ男くん」という鯖のすり身と、JAあいら伊豆農協のアイランドルビーをコラボレーションさせて、例えばミートソースパスタのレシピを作るなど、いろいろ考えていければと思いますし、既に実施しているものもあると思いますので、これからPRしていきたいと思います。

#### 【モニターF氏】

6年前に伊東に移住してきましたが、伊東駅前はこの6年間何も変わらず、むしろ衰退しているように思います。熱海と比べると人が少ないです。熱海は若者が列をなしていますが、やはりおしゃれなお店が多いです。伊東もおしゃれなス

イーツ店や地元の食材を使ったイタリア料理店などが増えるといいと思います。ターゲットにするには若い人がいいと思います。若い人はSNSで発信してくれます。先程市長がおっしゃっていたYouTubeの動画を私も拝見しましたが、ものすごくきれいでびっくりしました。これからはSNSをどんどん活用すべきだと思います。

#### 【市長】

熱海駅がリニューアルされて差を感じるかもしれませんが、伊東駅の駅舎は昭和13年に開通して以来あの姿のまま、風格が出てきたと思います。比較にはなりません、東京駅も当時の建物を再現してリニューアルをしましたので、今の風格は維持しながら、ロータリーへの車の乗り入れについて、バスやタクシーとの兼ね合いをどうするかなどを検討していきます。

観光案内所も令和2年4月に駅中に移しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で脚光を浴びることはありませんでした。これからはキャリーケースの預りや宿泊先への配送サービスなども含めて、観光客の拠点となるように考えていきます。

駅周辺は飲食店や物販店も旧来の店が多いです。いくつか新しいスタイルのお店はできていますが、熱海のように近距離に集中しているわけではなく、点在している状況ですので、人の滞留が目立つようなことはありません。

宿泊客数は熱海には負けますが、日帰り客も含めると伊東の方が圧倒的に人が集まってきます。熱海に泊まっても遊ぶ所は伊東です。アピールの仕方によっては伊東ファンも増えていくと思います。ターゲットを若い方に絞るといやり方もあるとは思いますが、若い方よりも年輩の方の方が金銭的に余裕があると思います。熱海の宿泊客は格安の宿泊施設を利用している方が6割です。伊東はその逆ですので、ゆっくりと過ごして豊かな気持ちになりたいという方には、熱海より伊東の方が魅力的に見えると思います。市民の方々はよく「熱海を見ろ」と言いますが、私は違う見方をしています。これからは伊東が選ばれる時代だと思っていますので、発信の仕方もゆっくり過ごしたい方が伊東を選んでくれるような仕掛けをしていきます。

また、今年度市民運動場の人工芝生化工事をしますので、例えば大学や社会人チームでサッカーやフットサルをしている方々に、合宿などで利用してもらえばいいなと思っています。

#### 【モニターE氏】

私も伊東に素敵なお店が増えればいいなと思います。私は介護の仕事に携わっていますが、皆さんが行きたいなと思うような素敵なお店や場所には、やはり高齢者も行きたいと思っています。介護施設に入所している方は施設職員が連れて行くことができますが、独居の方ですと諦めてしまっている方もいると思

います。高齢者の方でも気軽に出かけられるように、車いすでも安心して行けるお店や場所が増えたり、従業員が高齢者や介護のことについて理解して受け入れてくれるようになるといいと思います。市内にはたくさんの高齢者の方がいます。せっかく良いところに住んでいるのに、出かけられずに我慢してしまうのはもったいないと思います。

#### 【市長】

昨年旅館ホテル協同組合からのボトムアップで、コロナ禍の中でも観光を盛り上げようということで、静岡県民に対し、市内の宿泊施設に宿泊する際の費用を市が負担して5,000円の補助を行ったところ、2日間で応募がいっぱいになるくらい人気は殺到しました。応募が一番多かったのは意外にも伊東市民で、次が静岡市民でしたが、地元の人でも地元のホテルに泊まりたいんだなど改めて感じました。

県の事業でも、日帰りの旅行でも5,000円補助する事業が補正予算で通りました。県の新型コロナウイルス感染症の警戒レベルが5になってしまったことで今は停止していますが、国や県の予算を有効に使うことで伊東市民も楽しめます。

もっと広く言いますと、伊豆半島の首長が協力し合って伊豆半島全体を盛り上げようという動きが出ており、私がその会の会長になっています。伊東だけではなく周辺でも楽しめて、豊かな気持ちで生活ができるようになると住む人も増えていくと思います。伊東は就職先が少ないのが難点ですが、安全・安心に暮らせる住みやすいまちにつなげていければいいと思います。

#### 【モニターJ氏】

昨年度から医療・福祉人材確保のための「はじめようITO新生活応援事業」が始まりましたが、どのくらいの効果が上がっているのでしょうか。

また、市長のお考えで、今いる子どもたちに対しては、電子黒板やタブレットの予算を付けていただいています。今後生まれてくる子どもの数は少ないので、市外から移住して来てもらえるような、また学校を卒業した子どもたちが伊東に留まる、あるいは戻ってこれるような施策についてお伺いしたいです。

#### 【市長】

昨年の10月から「はじめようITO新生活応援事業」を始めましたが、この4月に入って利用者が増え、4月の時点で25人が利用していると報告を受けています。Uターンに限らず、資格を取って就職先を探していた人が、この制度を見つけて伊東を選んでくれたというケースもあります。この制度は職員のアイデアによるボトムアップ事業で、福祉基金のお金を有効活用しています。人材不足の分野は他にもあり、例えば観光業もコロナ禍になる前は人手が足りなく

て困っていました。今後そういった分野も優遇制度の対象にすれば、伊東に仕事を求めてくる人も増えるでしょうし、大学進学などで伊東を出て行った人も戻ってくるきっかけになるのではないかと思います。

これまで学校の教室にエアコンや電子黒板を設置し、生徒に1人1台タブレットを配布しました。国の補助も利用していますが、市で唯一収益が上がっている競輪事業からもお金を繰り出しています。今までも市民の皆さんのために使用していましたが、これからも子どもたちのために使っていきたいと思っています。まだ先は読めませんが、私は体育館にもエアコンが必要ではないかと思っています。体育館は避難所になります。どのような形で導入できるか検討していきます。

先日の市長選挙での私の公約についてお話をしますと、まず幼稚園でも給食を始めます。また、中学進学時の必要経費について補助制度を作り、子育て世帯の負担を減らします。奨学金の枠も、希望する方全員に出せないかと考えています。防犯カメラや防犯灯についても、タウンミーティングなどで通学時に子どもたちが怖い思いをしている箇所があるという話を聞いていますし、何かあった時に「防犯カメラもないの?」といった話になると思いますので、どんどん増やしていって安心・安全なまちを目指していきたいと思っています。

#### 【モニターD氏】

観光振興によって市税の増収につながるということなのだと思いますが、そもそも市民は市の歳入の事情を何もわかっていないのが現状だと思います。市税を住民税だけと思っている人もいるのではないのでしょうか。

どこの世代というのは難しいですが、子どもたちに市の財政がどのように成り立っているのかをわかりやすく伝えていく必要があると思います。金額が大きい事業については新聞で報道され、それに対して「無駄だ」「無駄じゃない」と市民は反応しますが、論点はそこではないと思います。例えば、「ごみを無料で回収してもらっているけど、処理するのにどのくらいの税金が使われているのか」や、「大人になって税金を払わないとこういうことができなくなって困る」、というようなことを勉強する機会があれば、お金の勉強にもなっていると思います。

今回市内の高校が合併しても、商業科は残ると聞いています。伊東商業高校では経営の勉強をしてビジネスグランプリで賞を獲得していますので、商売を行政と置き換えて増収を増やす為のアイデアを学生たちから募集するのはどうでしょうか?

サテライトオフィスやコワーキングスペースの事業は、市外から事業者が来ることによって増収が増えるので、ある程度投資した事業費の回収が見込めるとは思いますが、市内の事業者にお金が回るような事業もあればいいなと思います。

おもてなしコンシェルジュ事業は、時代に合わせるのであれば完全にデジタル化しても面白いのではないかと思いました。

#### 【市長】

今年度の市の歳入は、市税が占める割合が半分以下になっています。おっしゃる通り、普段当たり前のように受けている行政サービスにどのくらいの税金が使われているのかを、子どものうちから伝えていくのは重要だなと思います。今後どのような形で伝えていくか検討していきます。

おもてなしコンシェルジュ事業は、デジタル化してできることはやりたいと思いますが、必要としている方は高齢者や市役所に来る機会が少ない方です。必ずしも電子機器類の操作が得意な方ばかりではありません。公平性を保つという意味でも、まずは職員を配置して試行的に始めています。

#### 【秘書課長】

先日市長選挙前に1週間試行的に実施しており、その際の経験を踏まえて、再度秋頃に期間を長くして実施したいと考えています。

#### 【モニターA氏】

観光については、熱海に比べて落ち着いた雰囲気なのが伊東の良いところだと思っていますので、ターゲットは大人の方たちにして、ゆっくり過ごしてもらった方がいいのではないのでしょうか。伊東は「花と海といでゆの街」というキャッチフレーズがあるのも素敵だなと思います。お湯もすごく良いですし、お花がもっとあるといいなと思います。桜はさくらの里や川奈ホテルの大島桜があり、やぶ椿もあります。まだ注目されていない隠れた目玉があると思いますので、小さな目玉を集めてアピールすれば観光客が来てくれるのではないかと思います。

シャッターが閉まっている所がとても気になります。安くリフォームして、いろいろな方が利用できるようになると思います。

移住してきて思いましたが、目に見えない上下水道などのライフラインもとても重要だと思います。私の住んでいるところは残念ながら水道管が老朽化していて、茶色い水が出てくることがあります。市外から来る人たちに胸を張って安心なライフラインを提供できるよう、きちんと予算を確保して整備してほしいです。

高齢者についてですが、皆さん運転ができなくなり買い物に苦慮されています。東海バスが市内を走っていますが、ほとんど乗客がおらずもったいないです。バスの大きさを中型・小型にして本数をもっと増やしたり、降りたいところでボタンを押すと降りられるようにするなどの工夫ができればいいと思います。また、市民ボランティアの方に送迎してもらい、みんなで助け合えればいいと思います。

お墓についてですが、以前住んでいた横浜市では、少子高齢化でお墓を引き継いでいくのが難しいので、市が永代供養墓を整備して使用者を公募しています。伊東ではまだ整備されていない聞いています。亡くなった後の話ですので、優先順位もあるかと思いますが、整備してほしいです。

#### 【市長】

観光については、伊東の良さをもっと売り出していきたいと思います。川奈ホテルの大島桜については、あまり知られていませんが、以前ロシアのエリツィン大統領が来日した際日ロ首脳会談が行われましたので、そういったエピソードもアピールの材料になるかもしれません。

シャッター街は多くありまして大変困っています。困っている一因は、お店をやっていた方が2階に住んでいるケースで、他の人に貸すには玄関を新しく作らなければならないなどの事情があり、廃業してそのまま貸す意思がない所が多いです。そういった所には市が支援してシャッターにペイントをするようなことができればと思っています。

水道については、伊東の水は大変美味しいと言われています。全国的に水道事業は赤字で、設備の老朽化も進んでいます。とてもお金がかかる事業ですが、命に関わる大事なライフラインですので、水道料金を値上げするのが難しいです。水道から水が出るのは、当たり前のことや簡単なことではないということを皆さんにご理解いただけたらと思います。

高齢者の交通手段については、バス・鉄道会社の企業努力により、高齢者向けの割引乗車券を発行しています。市からも皆さんが利用しやすくなるように事業者に提案していきたいと思います。どこからでも乗れるバスというのは難しいですが、停車できる広い場所であればどこでも降りられるバスというのは研究の余地があるのではないかと思います。市民ボランティアによる送迎については、運転免許の種類の問題や、事故があった時の責任問題など様々な壁があります。現在事前予約で利用できるデマンドタクシー事業を実施していますが、利用者が少ない状況です。少子高齢化が進む中では大きな課題ですので、今後皆さんのニーズを把握しながらより良い方法を模索していきます。

お墓については、市営天城霊園で現在合葬墓の整備を計画しており、それが永代供養墓のような形になると思います。今年度設計を行い、来年度以降工事に入る予定です。

#### 【モニターG氏】

事業者の方とお話している中で、新型コロナウイルスワクチンについて、集団接種を予約した方が先に個別接種を受けた場合に、集団接種の予約の取り消しをしているのか心配していた方や、当日のキャンセルが出た場合に、ワクチンはどうのように扱われているのか疑問に思っていた方がいました。実際はどうなの

でしょうか。

**【市長】**

個別接種後の集団接種の予約の取り消しについては、1人1人番号を振っていますので、突合をすれば取り消ししてあるかどうかを確認できるようになっています。

7月中に高齢者の接種を完了させたいと思っていますので、最終的に7月11日までに1回目の予約ができていない方については、個別に電話で連絡を取ることも考えています。

**【副市長】**

当日のキャンセルがあった場合のワクチンについては、65歳以上の希望者に待機者リストに登録してもらい、キャンセルが出た際にすぐに年齢順に連絡を取り接種してもらうことで、無駄が出ないようにしています。

今後ワクチン接種が進んでいくと、待機者が減っていきますので、次の段階として保育士や教諭などクラスターの発生が危惧される環境にいる職種の方に登録をしてもらうことを検討しています。

**【モニターH氏】**

旅館ホテル協同組合では、市からの委託事業で、月齢3ヶ月から6ヶ月のお子さんがあるお母さんたちをホテルにご招待し、お子さんを保育士が預かってお母さんたちにゆっくり過ごしてもらおうという事業を、DHC赤沢のホテルで実施しました。対象者を1回6人までとしています。新型コロナウイルスの影響で応募が少ないのが現状です。こういった事業を積極的に行うためには、ワクチン接種を最優先に進めていく必要があると思います。今は観光の宣伝すら全くできない状況ですが、道後温泉で旅館等の従業員が全員ワクチンの優先接種をするというニュースがありました。安心・安全のアピールになったのではないかと思います。伊東では夏の花火大会の開催方法が変わり、そのことを皆さんにお知らせすることもできないような状況ですので、新型コロナウイルス対策を積極的に行って、観光情報を発信できるようにしてほしいです。

**【市長】**

産前・産後ケアサポート事業は大変人気があるのですが、新型コロナウイルスの影響で利用が少なくなっています。今後64歳以下のワクチン接種をどのように進めていくかが鍵になると思います。まだ詳しいことは言えないのですが、64歳から12歳までの約3万2千人が接種することになります。7月下旬までには皆さんに接種券を送付できるよう準備を進めています。基礎疾患がある方が優先になりますが、早い方は8月以降に接種を始めることができるのでは

ないかと思っています。

市の状況としましては、医療従事者約1,700人は全員接種を終えて、皆さんが安心して接種できる状態で高齢者の接種を始めました。今のところ順調に進んでいます。7月中に高齢者の接種を終えた後は、例えば道後温泉のように、観光業の方たちになるべく早く接種してもらうなど、工夫が必要になってくると思います。先程お話があったように、今は観光宣伝ができない状況ですので、一刻も早くこの状況が打開できるように努めてまいります。

#### 【モニターI氏】

新型コロナウイルスの影響で、非正規雇用の方々が生活に困窮して社会福祉協議会に相談に来ていますが、生活保護の申請件数は増えているのでしょうか。コロナ禍がいつまで続くかわかりませんので、食べ物など物資での支援を市と一緒に進めていければいいなと思います。

#### 【市長】

正規・非正規雇用問わず、国の雇用調整助成金を受けて職を離れた方はそれほど多くないと聞いています。100%の給与等がもらえないので苦しいという話もよく聞いています。食料等の支援は衛生面で難しいのですが、今後状況を見ながら検討していきたいと思っています。

#### 【副市長】

生活保護の申請件数はそれほど増えていないと聞いています。生活困窮者自立支援事業での相談や支援によって、生活保護に至らずにすんでいるケースが多いようです。また、全国的にも話題になりました「生理の貧困」について、困っている方に対して生理用品をそっと差し上げる仕組みを作り、支援を行っている状況です。

以上